

赤潮発生状況

吉田和貴・朝田健斗・加藤慎治

平成31年に徳島県沿岸域で発生した赤潮について、公式に記録することを目的とする。

方法

漁場環境調査等における観測や漁業者からの聞き取りを元に、赤潮の発生期間、発生海域、赤潮構成種及び漁業被害についてまとめた。

結果及び考察

表1に平成31年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮発生海域をそれぞれ示した。平成31年は、昨年より4件少ない1件の赤潮が発生した。赤潮を形成した種は、珪藻の*Eucampia zodiacus*であった。顕著な着色は確認できなかったが、細胞数から赤潮として扱った。平成31年2～3月は紀伊水道沿岸で藻類の色落ちが発生し、本種の大量発生による栄養塩の低下が影響したと考えられた。

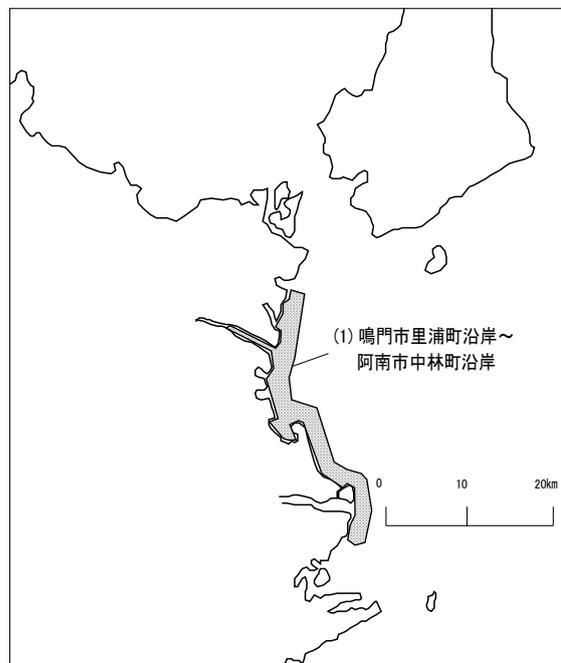


図2. 赤潮発生海域。図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

表1. 平成31年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞数 (cells/mL)
(1)	2/19 ~ 3/19	29	鳴門市里浦町沿岸～ 阿南市中林町沿岸	<i>Eucampia zodiacus</i>	不明	684.0

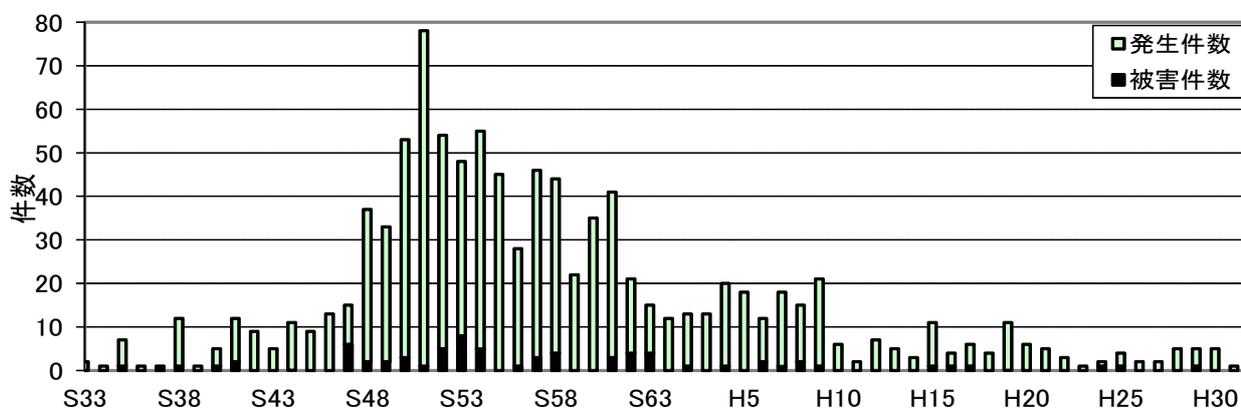


図1. 赤潮の発生件数と被害件数の推移